



記者会見資料  
 令和3年11月26日  
 建設環境部環境課  
 電話 0470-22-3354

## 【県内初】バイオマスプラスチック使用のごみ指定袋を導入 ～ゼロ・カーボン ダッペエも応援～

館山市は、地球温暖化の防止に向けた温室効果ガス削減の取り組みとして、令和4年度に、県内で初めて、バイオマスプラスチック（※1）を使用したごみ指定袋を導入します。

なお、袋の外観（色や形）やサイズ、金額は従来と変更ありません。

近年我が国をはじめ世界で多発している大規模な自然災害は、地球温暖化が招く気候変動によるものとも言われています。令和元年に房総半島台風等で大きな被害を受けた当市は、環境への貢献、とりわけ温室効果ガスの削減に向けた取り組みを強化することとし、今年8月に「ゼロ・カーボンシティ」を宣言しました。

ごみ指定袋は、通常、石油由来のプラスチックが使われ、焼却時に二酸化炭素が発生することが問題となっていますが、国は、令和3年1月に示した“バイオプラスチック導入ロードマップ”において、「バイオマスプラスチックが焼却された際に排出される温室効果ガスはカーボンニュートラルであることが期待できる」としています。

当市は新たなごみ指定袋で、バイオマス配合率を25%とします。環境省による令和2年度の調査（※2）によると、全国の市区町村で、家庭用可燃ごみの指定袋へのバイオマスプラスチック等環境配慮型素材の使用は40例あり、そのうち、バイオマス配合率が25%を超えるのは12例となっています。

千葉県内で、ごみ指定袋にバイオマスプラスチックを使用する市町村はありません。

新たなごみ指定袋には「地球のために、ごみの減量化にご協力ください」というメッセージや、新たに登場する「ゼロ・カーボン ダッペエ」を表示する予定です。



© studio crocodile・館山市

（※1 バイオマスプラスチック：植物等の再生可能な有機資源を使用するプラスチック）

（※2 調査内容の掲載：「令和2年度バイオマスプラスチック利活用検討業務報告書」）